

平成 27 年度 第 48 回細胞検査士資格認定試験学科筆記試験

その1 総論

1. 正しい組み合わせはどれですか。

A. アスベスト小体	_____ 悪性胸膜中皮腫	1. A. B
B. シャルコー・ライデン結晶	_____ ウェゲナー肉芽腫症	2. A. E
C. クルシュマン螺旋体	_____ 肺過誤腫	3. B. C
D. 石灰化小体	_____ 小細胞癌	4. C. D
E. ラングハンス巨細胞	_____ 肺結核	5. D. E
2. 肝臓の血液の流れについて正しい組み合わせはどれですか。

A. 肝動脈→小葉間動脈→中心静脈→肝静脈	1. A. B
B. 肝動脈→小葉間静脈→中心静脈→肝静脈	2. A. E
C. 肝動脈→中心静脈→小葉間静脈→肝静脈	3. B. C
D. 門脈→小葉間動脈→中心静脈→肝静脈	4. C. D
E. 門脈→小葉間静脈→中心静脈→肝静脈	5. D. E
3. 正しい組み合わせはどれですか。

A. 多形腺腫	_____ 混合性腫瘍	_____ 仙骨	1. A. B
B. 奇形腫	_____ 胚細胞性腫瘍	_____ 縦隔	2. A. E
C. 横紋筋肉腫	_____ 非上皮性悪性腫瘍	_____ 膀胱	3. B. C
D. 過誤腫	_____ 悪性混合性腫瘍	_____ 肺	4. C. D
E. カルチノイド	_____ 神経内分泌腫瘍	_____ 骨	5. D. E
4. 内胚葉, 中胚葉, 外胚葉発生について正しい組み合わせはどれですか。

A. 下垂体後葉は外胚葉由来である.	1. A. B
B. 副腎皮質は中胚葉由来である.	2. A. E
C. 精巣は内胚葉由来である.	3. B. C
D. 膀胱・尿道の上皮は外胚葉由来である.	4. C. D
E. 心・血管は外胚葉由来である.	5. D. E
5. 背景にリンパ球の出現を特徴とするものはどれですか。

A. 線維腺腫	1. A. B
B. 精上皮腫	2. A. E
C. ワルチン腫瘍	3. B. C
D. 甲状腺髄様癌	4. C. D
E. 多形腺腫	5. D. E
6. 正しい組み合わせはどれですか。

A. <i>Coccidioides</i>	_____ 真菌	1. A. B
B. <i>Cryptosporidium</i>	_____ 原虫	2. A. E
C. <i>Clostridium</i>	_____ 真菌	3. B. C
D. <i>Entamoeba histolytica</i>	_____ 細菌	4. C. D
E. <i>Chlamydia</i>	_____ 原虫	5. D. E
7. 細胞死について, 正しい組み合わせはどれですか。

A. アポトーシスは細胞集団として認識されることが多い.	1. A. B
B. アポトーシスは放射線障害で見られる.	2. A. E
C. ネクローシスには凝固壊死と融解壊死がある.	3. B. C
D. アポトーシスは結核でしばしば認められる.	4. C. D
E. ネクローシスでは細胞質が好塩基性となる.	5. D. E
8. 細胞内小器官と機能で, 誤っている 組み合わせはどれですか。

A. ライソゾーム	_____ 加水分解酵素を含む	1. A. B
B. ミトコンドリア	_____ エネルギー産生	2. A. E
C. ゴルジ体	_____ 物質産生に関与	3. B. C
D. 粗面小胞体	_____ ステロイドホルモン合成	4. C. D
E. 滑面小胞体	_____ タンパクの合成	5. D. E
9. 誤っている 組み合わせはどれですか。

A. EBV	_____ NK/T リンパ腫	1. A. B
B. HTLV-1	_____ 成人 T 細胞性白血病/リンパ腫	2. A. E
C. HPV	_____ 子宮内膜癌	3. B. C
D. CMV	_____ 咽頭癌	4. C. D
E. HHV-8	_____ カポジ肉腫	5. D. E

10. がんの部位別死亡率で 誤っている 組み合わせはどれですか。
- 肺癌は男女共に増加傾向にある。
 - 胃癌は男女共に減少傾向にある。
 - 大腸癌は男女共に減少傾向にある。
 - 女性の乳癌は増加傾向にある。
 - 肝臓癌は男女共に減少傾向にある。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
11. 核に陽性所見を示す抗体を 1 つ選びなさい。
1. E-cadherin
 2. EGFR
 3. HER2
 4. HMB45
 5. TTF-1
12. がん抑制遺伝子を 1 つ選びなさい。
1. BRCA-1
 2. cyclin D1
 3. erb-B2
 4. myc
 5. ras
13. 悪性腫瘍はどれか 1 つ選びなさい。
1. 髄膜腫
 2. 血管芽腫
 3. 膠芽腫
 4. 下垂体腺腫
 5. 神経鞘腫
14. 誤っている 組み合わせはどれですか。
1. GIST カハール介在細胞 c-kit
 2. PEComa 平滑筋細胞 CD45
 3. NET 内分泌細胞 ソマトスタチン受容体
 4. MEN2 型 C-細胞 CEA
 5. MALT リンパ腫 濾胞辺縁帯細胞 CD20
15. 誤っているもの を 1 つ選びなさい。
1. 膀胱癌は乳頭状発育を示す表在性癌が多い。
 2. 尿路上皮癌は膀胱内のみならず、腎盂や尿管にも発生する。
 3. 表在性膀胱癌は予後不良である。
 4. 染料労働者に職業性膀胱癌が発生しやすい。
 5. 膀胱上皮内癌は高異型度が多い。
16. 誤っている 組み合わせはどれですか。
1. von Hippel-Lindau 病 膀胱癌
 2. Lynch 症候群 大腸癌
 3. von Recklinghausen 病 神経線維腫
 4. 家族性大腸ポリポーシス 大腸腺腫
 5. Peutz-Jeghers 症候群 大腸ポリポーシス
17. 誤っているもの を 1 つ選びなさい。
1. HTLV-1 はレトロウイルス科に属する。
 2. HCV は RNA ウイルスである。
 3. EBV はアデノウイルスである。
 4. HPV は DNA ウイルスである
 5. HIV はレトロウイルス科に属する。
18. 細胞所見で、誤っている ものを 1 つ選びなさい。
1. 扁平上皮癌細胞は腺癌細胞よりも孤在性出現の傾向がある。
 2. 上皮性悪性腫瘍細胞は通常二種以上の腫瘍細胞からなる。
 3. 乳頭状増殖は腺系悪性腫瘍で見られる場合が多い。
 4. 乳頭状構造では毛細血管を伴う。
 5. 濾胞構造は通常腺癌で見られる場合が多い。
19. がん抑制遺伝子について 誤っている ものを 1 つ選びなさい。
1. 細胞の増殖に対し抑制的にはたらく。
 2. 1 対の染色体にいわゆるツーヒットが起こることにより機能を失う。
 3. 家族性大腸ポリポーシス症候群では APC 遺伝子の変異が見られる。

4. 多発性内分泌腫瘍症 I 型では MEN1 遺伝子の機能喪失が見られる。
5. 点突然変異の検出法として FISH 法がある。
20. 消化管の固有筋層で 誤っている ものを 1 つ選びなさい。
 1. 食道は内輪筋と外縦筋からなる。
 2. 胃は内輪筋, 中斜筋, 外縦筋からなる。
 3. 結腸は内輪筋と外縦筋からなる。
 4. 食道は横紋筋と平滑筋よりなる。
 5. 小腸は平滑筋よりなる。

その2 技術

1. 光学顕微鏡について正しいものはどれですか。

A. 顕微鏡でみえる範囲は接眼レンズと視野絞りの直径で決まる。	1. A. B
B. コンデンサー絞りを開くとコントラストが増強される。	2. A. E
C. 10 倍の対物レンズのカラーコードは JIS 規格にて赤色である。	3. B. C
D. 対物レンズの開口数は分解能に影響しない。	4. C. D
E. 分解能とは識別できる 2 点の最短距離であり, 距離に近いほど高分解能である。	5. D. E
2. 細胞診標本の作製法について正しいものはどれですか。

A. 喀痰は血痰部を優先して採取する。	1. A. B
B. 体腔液標本は細胞の遊離を防ぐためゆっくりと固定液に入れる。	2. A. E
C. 乳腺穿刺吸引細胞診は腫瘍の中心から穿刺したほうが良い。	3. B. C
D. 穿刺吸引細胞診では嚢胞部と充実部がある場合には, 嚢胞部を優先する。	4. C. D
E. 高度な血尿検体では遠心操作後にバフィーコートを採取して標本作製を行う。	5. D. E
3. 再水和法について正しいものはどれですか。

A. 乾燥後アルコール固定した標本では, 再水和処理を行っても染色性の改善は見られない。	1. A. B
B. 生理食塩水を用いる場合は, 標本を 20 分浸す。	2. A. E
C. スキムミルクは用いることはできない。	3. B. C
D. 再水和処理後は軽く水洗し, 95%アルコールで 1~2 分固定する。	4. C. D
E. 生理食塩水に浸しすぎるとオパーク状核が生じる。	5. D. E
4. Fluorescence in situ hybridization (FISH) 法について正しいものはどれですか。

A. 細胞周期の M 期を判定できる。	1. A. B
B. ゲノムにおける特定の遺伝子の点突然変異を証明する事はできない。	2. A. E
C. 液状化細胞診 (Liquid Based Cytology: LBC) 標本や細胞転写標本でも施行可能である。	3. B. C
D. 細胞標本でもパラフィン標本と同等の前処理操作が必須である。	4. C. D
E. シグナル数を問題とする場合は, 捺印標本よりも組織標本の方が正確な結果が得られる。	5. D. E
5. Papanicolaou 染色について正しいものはどれですか。

A. 透徹キシレンは細胞剥離が多く, 使用後の濾過が望ましい。	1. A. B
B. 検体種類別に分けて固定するのが望ましい。	2. A. E
C. ギルのヘマトキシリンは必ずしも色出しは必要ない。	3. B. C
D. ビスマルクブラウンは細胞質顆粒を茶褐色に染める。	4. C. D
E. 染色中は細胞剥離を防ぐため, 上下に動かしてはいけない。	5. D. E
6. 労働安全衛生法の特定化学物質障害予防規則の第 2 類物質に指定されているものはどれですか。

A. クロロホルム	1. A. B
B. 硫酸	2. A. E
C. アンモニア	3. B. C
D. メタノール	4. C. D
E. ホルムアルデヒド	5. D. E
7. 蛍光顕微鏡について 誤っている ものはどれですか。

A. 肉眼で見える光 (可視光) は通常 400~700nm の範囲にある。	1. A. B
B. 物体がある波長の光を吸収し, 異なる波長の光を放出する物理的な性質のことを蛍光という。	2. A. E
C. 蛍光染色は永久標本とはならない。	3. B. C
D. 蛍光顕微鏡は生物試料中に含まれる結晶物質の観察に用いる。	4. C. D
E. 蛍光物質が放出する波長は, 吸収した光エネルギーよりも高エネルギーである。	5. D. E
8. Papanicolaou 染色で 誤っている ものはどれですか。

A. ヘマトキシリンは塩基性色素である。	1. A. B
B. ヘマトキシリンアルミニウムヘマチンラックは, 核酸のリン酸基と結合する。	2. A. E
C. オレンジ G, エオジン Y, ライトグリーンはいずれも酸性色素である。	3. B. C
D. 酸性色素の化学反応を利用した染色である。	4. C. D
E. 一番分子量が小さい色素はライトグリーンである。	5. D. E

9. Giemsa 染色について 誤っているものはどれですか。
- A. 温風で乾燥させると細胞が青味を帯びやすい。 1. A. B
 - B. 細胞重積が強い標本では細胞の観察が困難になる。 2. A. E
 - C. 緩衝液はクエン酸緩衝液が用いられている。 3. B. C
 - D. メチレンブルーは酸性色素として染色に関与する。 4. C. D
 - E. メタクロマジアとは色素本来の色調とは異なる色に染色される現象を指す。 5. D. E
10. 次のうち 誤っているものはどれですか。
- A. PAS 反応は多糖類を過ヨウ素酸で酸化して、生じたアルデヒド基をシッフ試薬で検出する。 1. A. B
 - B. Mucicarmine 染色は、主として酸性粘液が赤～淡赤色に染まる。 2. A. E
 - C. Alcian blue 染色は、pH の影響を受けない。 3. B. C
 - D. Grocott 染色は、クロム酸でアルデヒド基を遊離させ、メセナミン銀により検出する。 4. C. D
 - E. Berlin blue 染色は、フェロシアン化カリウムと塩酸で呈色反応を起こす。 5. D. E
11. Papanicolaou 染色について 誤っているものはどれですか。
- A. 封入前に乾燥した場合、コーンフレーク状のアーチファクトがみられる。 1. A. B
 - B. 固定前乾燥では、細胞は収縮してみえる。 2. A. E
 - C. 固定前に乾燥した場合、ライトグリーン好性となる。 3. B. C
 - D. 脱水や透徹が不良な場合、透明感が不足する。 4. C. D
 - E. 湿固定前に乾燥した標本では、再水和法が有効である。 5. D. E
12. 次のうち正しいものはどれですか。
1. 穿刺吸引細胞診では、吸引後に陰圧を解除してから針を抜去する。
 2. フィルター法は出血の影響を受けにくい利点がある。
 3. 髄液の遠心条件は 1500rpm, 5 分である。
 4. スプレー式コーティング固定は Giemsa 染色でも良好な染色が得られる。
 5. セルブロックは永久保存ができない。
13. 顕微鏡トラブルの原因について 誤っている組み合わせはどれですか。
1. 光軸のズレ ————— 「開口絞り」「視野絞り」「眼幅調整」の調整が不十分
 2. 対物レンズを切り替えたときのピントのズレ — 視度調整が不十分
 3. 特定の対物レンズのみ細胞像が揺れて見える — 該当対物レンズのねじ込みが不十分
 4. 細胞像が鮮明にみえない ————— 対物レンズの汚れ
 5. スクリーニング時、標本が斜めに動く ————— ステージの固定不良
14. 次のうち 誤っているものはどれですか。
1. 細胞診における検体処理は感染対策が必要である。
 2. 喀痰検体のすり合わせ回数が多いと細胞が壊れやすい。
 3. 引きガラス法で高粘稠性検体は引きガラスの角度を大きくする。
 4. 引きガラス法で大型細胞は引き終わりに集まりやすい。
 5. 早朝尿は細胞の変性が強い検体として不適切である。
15. 液状化細胞診 (LBC: Liquid-based cytology) について 誤っているものはどれですか。
1. 乾燥による不適正標本が減る。
 2. 限られた範囲に塗抹されるため細胞数が減る。
 3. 細胞の重なるの少ない均一な標本が作製できる。
 4. 免疫染色や遺伝子検査の追加も可能である。
 5. 標本作製のコストや検体処理装置が高価である。
16. 免疫細胞化学染色について 誤っているものはどれですか。
1. 通常エタノールによる湿固定標本を用いる。
 2. 過酸化水素や過酸化水素加メタノールで内因性ペルオキシダーゼ活性阻止操作を行う。
 3. 組織診と比較して共染しにくい。
 4. 核染色はヘマトキシリンを用いることが多い。
 5. 湿固定時間が長いと抗原性の失活がみられる場合がある。
17. 細胞標本を用いた免疫染色について 誤っているものはどれですか。
1. 剥離防止剤でコートされたスライドガラスを用いることが望ましい。
 2. PAS 反応後の標本では、過ヨウ素酸処理により抗原性の失活もあり得る。
 3. Labelled streptavidin biotin (LSAB) 法は、内因性ビオチンの影響を受けない。
 4. 未染色標本はアルコール固定液中で 2 週間程度保存可能である。
 5. 核内抗原などの検出には、熱処理による抗原賦活化が有効である。
18. 次のうち 誤っているものはどれですか。
1. Papanicolaou 染色は、固定時間が長いと染色性に影響する。
 2. 生理食塩水による洗浄検体では、核の膨化や変性は生じない。

3. 胆汁や唾液は酵素の影響で細胞変性を起こしやすい。
4. 固定前乾燥標本では腺上皮細胞集塊は合胞状にみえることがある。
5. 噴霧固定の場合には、噴霧量が少ないと細胞質が赤みを帯びる。
19. 次のうち 誤っている ものはどれですか。
 1. 細胞診は医療事故において訴訟の対象となり得る。
 2. 医療過誤は医療従事者が業務上の注意義務を怠り患者に障害を及ぼした場合のことである。
 3. 健康診断で尿中メチル馬尿酸検査の対象となる有機溶剤はキシレンである。
 4. 受診者ラベルの貼られた細胞診標本は、個人情報を含むものとして扱う必要がある。
 5. インシデントとは医療行為の中で患者に障害が起こった事象のことである。
20. ホルマリンについて 誤っている ものはどれですか。
 1. 作業部屋の管理濃度は 0.1ppm である。
 2. 発がん性が指摘されている。
 3. ホルマリンは中和処理を行えば下水に廃棄してよい。
 4. 6 ヶ月に 1 回の作業環境測定を行う義務がある。
 5. 作業環境測定の結果は各事業所で 3 年間保管する義務がある。

その3 胸腹水・その他

1. 尿細胞診について正しいものはどれか。

A. 尿膜管癌は扁平上皮癌が多い。	1. A. B
B. デコイ細胞は悪性の判定に役立たない。	2. A. E
C. BCG 治療中の尿では類上皮細胞がみられる。	3. B. C
D. 膀胱上皮内癌は自然尿中への腫瘍細胞の出現率が低い。	4. C. D
E. 液状化細胞診（LBC）は尿検体には応用できない。	5. D. E
2. 非浸潤性乳管癌について正しいものはどれか。

A. 腫瘤として触知されることはない。	1. A. B
B. 筋上皮細胞の介在は不明瞭である。	2. A. E
C. アポクリン型では良性のアポクリン化生に比して異型が強い。	3. B. C
D. 神経内分泌分化を示すものが多い。	4. C. D
E. 石灰化を伴うことはまれである。	5. D. E
3. 甲状腺の細胞診について正しいものはどれか。

A. 核内細胞質封入体は乳頭癌に特異的である。	1. A. B
B. 濾胞性腫瘍は、ベセスダシステムで“悪性疑い”とする。	2. A. E
C. 髄様癌ではライトグリーンに染まる無構造物質がみられる。	3. B. C
D. 橋本病と MALT リンパ腫の鑑別は難しい。	4. C. D
E. 未分化癌で好中球を認めることは殆どない。	5. D. E
4. 胸腹水について正しいものはどれか。

A. 結核性胸水では ADA（adenosin deaminase）が低値を示すことが多い。	1. A. B
B. 癌性胸膜炎（細胞診陽性胸水）の原因として食道癌が多い。	2. A. E
C. 悪性中皮腫は胸膜発生が最も多い。	3. B. C
D. 漏出性腹水の原因として肝硬変症が挙げられる。	4. C. D
E. 胃癌取扱い規約で腹腔洗浄細胞診の CYX は「癌細胞を疑う」である。	5. D. E
5. 脳腫瘍について正しいものはどれか。

A. 悪性リンパ腫は T 細胞性が多い。	1. A. B
B. 退形成性星細胞腫は予後良好である。	2. A. E
C. 転移性脳腫瘍は原発性脳腫瘍より多い。	3. B. C
D. 髄膜腫は EMA 陽性である。	4. C. D
E. 髄芽腫は大脳白質に好発する。	5. D. E
6. 内分泌疾患について正しいものはどれか。

A. Basedow 病は自己免疫疾患である。	1. A. B
B. 下垂体腺腫は下垂体ホルモンの産生を抑制する。	2. A. E
C. 亜急性甲状腺炎は無痛性である。	3. B. C
D. ハッサル小体は副甲状腺腺腫にみられる。	4. C. D
E. 褐色細胞腫は副腎髄質細胞に由来する。	5. D. E
7. リンパ節病変のうち 誤っている ものはどれか。

A. 猫ひっかき病では好酸球膿瘍を認める。	1. A. B
B. 亜急性壊死性リンパ節炎では好中球を認める。	2. A. E
C. 結核性リンパ節炎では乾酪壊死を伴った類上皮細胞肉芽腫を認める。	3. B. C
D. 伝染性単核球症は EBV の感染疾患である。	4. C. D
E. Piringer リンパ節炎では単球様 B 細胞が出現する。	5. D. E

8. 骨・軟部腫瘍について 誤っているものはどれか。
- A. 骨巨細胞腫は長骨の骨幹に好発する。 1. A. B
 - B. 骨の悪性腫瘍の中では転移性腫瘍が最も多い。 2. A. E
 - C. 骨肉腫のレントゲン像では骨膜反応がみられる。 3. B. C
 - D. ユーイング肉腫は小型の円形細胞からなる。 4. C. D
 - E. デスモイド腫瘍は軟らかい腫瘍である。 5. D. E
9. 乳腺の細胞像について 誤っているものはどれか。
- A. アポクリン化生は線維腺腫の特徴である。 1. A. B
 - B. 葉状腫瘍では上皮細胞の二相性配列がみられる。 2. A. E
 - C. 粘液癌は細胞質内粘液が特徴である。 3. B. C
 - D. 背景の泡沫細胞は嚢胞性病変を示唆する。 4. C. D
 - E. 髄様癌は背景にリンパ球がみられない。 5. D. E
10. MALT リンパ腫について 誤っているものはどれか。
- A. 腫瘍細胞は胚中心芽細胞様の形態を示す。 1. A. B
 - B. 低悪性度のリンパ腫である。 2. A. E
 - C. リンパ上皮病変 (lymphoepithelial lesion/LEL) を認める。 3. B. C
 - D. B 細胞マーカーを用いた免疫染色が有用である。 4. C. D
 - E. 放線菌感染との関係が示唆されている。 5. D. E
11. 甲状腺細胞診の報告様式 (甲状腺癌取り扱い規約第 6 版) において検体不適正の所見として正しいものはどれか。
1. コロイドのみ
 2. 泡沫細胞のみ
 3. 多数の炎症細胞
 4. 少数の濾胞上皮細胞のみ
 5. 少数の異型細胞のみ
12. 正しいものはどれか。
1. 低異型度尿路上皮癌は局所再発しない。
 2. 自然尿は膀胱洗浄液に比べて細胞変性が少ない。
 3. 膀胱洗浄液には高異型度尿路上皮癌細胞は出現しない。
 4. 膀胱上皮内癌は平坦病変である。
 5. 尿膜管癌は膀胱頸部に発生することが多い。
13. 次のうち正しいものはどれか。
1. 成人 T 細胞性白血病は東日本に多い。
 2. Primary effusion lymphoma は T 細胞性である。
 3. パーキットリンパ腫は CD10 陰性である。
 4. マントル細胞リンパ腫では、14 番染色体と 18 番染色体の転座がみられることが多い。
 5. 多発性骨髄腫細胞は CD138 陽性である。
14. 悪性胸膜中皮腫について正しいものはどれか。
1. 壁側胸膜より発生する。
 2. 両側性の胸水貯留を認めることが多い。
 3. 早期の段階から肺実質に結節性の病変を伴うことが多い。
 4. 多くの症例で p16 遺伝子を含む 9 番染色体の短腕の増幅が認められる。
 5. アスベストによる健康被害の救済給付対象となる指定疾病は、悪性中皮腫のみである。
15. 腹膜上皮型中皮腫を卵巣漿液性腺癌から鑑別に最も有用なマーカーはどれか。
1. calretinin
 2. WT1
 3. D2-40
 4. Ber-EP4
 5. ER
16. 次のうち 誤っているものはどれか。
1. 前立腺癌の分類にグリソン (Gleason) 分類がある。
 2. p63 は前立腺癌の診断に有用である。
 3. 集合管癌は腎髄質から発生する。
 4. 膀胱の非浸潤性乳頭状尿路上皮癌の T 分類は pTis である。
 5. 腎細胞癌が自然尿中に出現するのはまれである。
17. 膠芽腫の所見で 誤っているものはどれか。
1. 円形核
 2. 壊死
 3. 核分裂像

4. 柵状配列
5. 血管増生
18. 尿細胞診について 誤っているものはどれか。
 1. 尿路結石患者の尿中には、核濃染する尿路上皮細胞がみられる。
 2. 高異型度尿路上皮癌では異型細胞が核偏在性を示す。
 3. 上皮内癌は低異型度であることが多い。
 4. 尿路上皮癌では pair cell がみられる。
 5. ウイルス感染細胞は高異型度尿路上皮癌との鑑別を要する。
19. 乳腺について 誤っているものはどれか。
 1. 小葉癌と乳管癌の鑑別には E-cadherin が有用である。
 2. CD10 は筋上皮細胞のマーカーとして知られている。
 3. 分泌癌の診断には casein が有用である。
 4. HER2 の発現は非浸潤性乳管癌も対象とする。
 5. Ki-67/MIB-1 の標識率は乳癌治療の選択に用いられる。
20. 次のうち 誤っている組み合わせを選びなさい。
 1. 濾胞性リンパ腫 ————— bcl-2
 2. マントル細胞リンパ腫 ————— cyclin D1
 3. 自己免疫性脾炎 ————— IgG4
 4. 血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫 ——— CD3
 5. 古典的ホジキンリンパ腫 ————— ALK

その4 呼吸器

1. 次のうち重層扁平上皮で覆われているのはどれですか。

A. 声帯	1. A. B
B. 鼻前庭	2. A. E
C. 咽頭鼻部	3. B. C
D. 副鼻腔	4. C. D
E. 呼吸細気管支	5. D. E
2. II型肺胞上皮細胞について正しいものはどれですか。

A. 扁平な細胞である。	1. A. B
B. 細気管支を覆う細胞である。	2. A. E
C. 無線毛細気管支上皮細胞からできている。	3. B. C
D. サーファクタントアポ蛋白を分泌する。	4. C. D
E. 肺胞傷害後の修復過程で増生する。	5. D. E
3. 喀痰中にオレンジ G で染色される菱形結晶が認められた。次のうち原疾患として適切なものはどれですか。

A. 気管支喘息	1. A. B
B. 肺吸虫症	2. A. E
C. 肺扁平上皮癌	3. B. C
D. 気管支拡張症	4. C. D
E. 肺クリプトコッカス症	5. D. E
4. 腺癌よりも扁平上皮癌に認められる所見として正しいのはどれですか。

A. 中心核	1. A. B
B. 粘液空胞	2. A. E
C. レース様細胞質	3. B. C
D. 核縁の切れ込み	4. C. D
E. 細胞質の層状構造	5. D. E
5. 肺扁平上皮癌について正しいものはどれですか。

A. 男女比はほぼ 1 : 1 である。	1. A. B
B. 主気管支に最も多く発生する。	2. A. E
C. 90%以上が喫煙者である。	3. B. C
D. 画像所見で腺癌に比べ空洞がみられることが多い。	4. C. D
E. 肺癌での割合は経年的に増加傾向にある。	5. D. E
6. 縦隔腫瘍の好発部位について正しい組み合わせはどれですか。

A. 胸腺腫 ————— 前縦隔	1. A. B
B. 神経内分泌腫瘍 ——— 後縦隔	2. A. E
C. 胚細胞腫瘍 ————— 中縦隔	3. B. C
D. 悪性リンパ腫 ————— 前縦隔	4. C. D
E. 神経原性腫瘍 ————— 後縦隔	5. D. E

7. 次のうち 誤っている ものはどれですか。
- 基底細胞増生は炎症性疾患や高度喫煙者にみられる。
 - 線毛円柱上皮細胞は線毛運動により微細な異物を排除する。
 - 慢性気管支炎や気管支拡張症では杯細胞増生がみられる。
 - 基底細胞は N/C 比の大きな大型細胞である。
 - CCP 細胞は基底細胞が変化したものである。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
8. 肺腺癌の垂型のうち 特殊型に含まれない ものはどれですか。
- 腸型腺癌
 - 胎児型腺癌
 - 淡明細胞型腺癌
 - 印環細胞型腺癌
 - 膠様（コロイド）腺癌
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
9. 高分化乳頭状腺癌と異型腺腫様過形成の鑑別に 有用な細胞所見でない ものはどれですか。
- 細胞配列の極性
 - 細胞境界の明瞭性
 - 細胞集塊の大きさ
 - 核内封入体の出現頻度
 - 核の切れ込みの出現頻度
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
10. 小細胞癌について 誤っている ものはどれですか。
- N/C 比が高く、ほぼ裸核状を示す。
 - 腫瘍細胞はリンパ球の 3 倍以上である。
 - 核小体は明瞭に認める。
 - 核の鋳型状配列を示す。
 - 核縁が薄く、核線を認める。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
11. 次のうち 誤っている ものはどれですか。
- 放射線による修復細胞の核は類円形で増大し、大小不同がみられる。
 - 放射線による修復細胞には核分裂像がみられない。
 - 正常細胞では放射線による DNA 二本鎖の切断部分が容易に修復される。
 - 放射線による細胞死には分裂死と間期死（アポトーシス）がある。
 - 放射線照射後の細胞変化として癌細胞と正常細胞ともに巨細胞化がみられる。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
12. 次のうち 誤っている ものはどれですか。
- 腺様嚢胞癌は篩状構造が特徴である。
 - 粘表皮癌は扁平上皮系細胞と粘液細胞が混在する。
 - 多形癌は巨細胞および紡錘細胞成分がそれぞれ 10% 以上である。
 - 腺扁平上皮癌は腺癌および扁平上皮癌の成分がそれぞれ 20% 以上である。
 - 癌肉腫は明らかな癌腫と異所性成分からなる肉腫が混在した腫瘍である。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
13. 次のうち 誤っている ものはどれですか。
- K-ras 変異陽性肺腺癌は杯細胞の形態を示すことが多い。
 - ALK 陽性肺癌は微小乳頭状増殖（micropapillary pattern）を伴うことが多い。
 - EGFR 変異陽性肺癌は粘液産生に富む篩状構造を示す腺癌に多い。
 - ALK 陽性肺癌は細胞質に粘液を有し、印環細胞様を示すものが多い。
 - EGFR 変異陽性肺癌は肺胞上皮置換型の高分化腺癌を示すことが多い。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
14. 肺癌について正しいものはどれですか。
1. 腺癌では喫煙の因果関係が濃厚である。
 2. 非小細胞肺癌の病期 I 期では手術療法が選択される。
 3. 最も多い組織型は扁平上皮癌であり、肺がんの約 50% を占める。
 4. わが国の部位別がん死亡数は男女共に第一位である。
 5. 分子標的治療を行う際、非小細胞癌を扁平上皮癌と非扁平上皮癌に分ける必要はない。
15. 次のうち正しいものはどれですか。
1. 扁平上皮化生細胞は健常者の喀痰中には認められない。
 2. 高度異型扁平上皮細胞の一部に癌が含まれている可能性がある。
 3. 気管支における杯細胞の増生や扁平上皮化生は前癌病変として扱われる。
 4. 喀痰中に中等度異型扁平上皮細胞が認められた場合は直ちに精密検査をおこなう。
 5. 高度異型扁平上皮細胞のほとんどはヒトパピローマウィルスが関与している。
16. 肺癌検診における喀痰細胞診の判定基準について 誤っている ものはどれですか。
1. 基底細胞増生は B 判定である。
 2. 線毛円柱上皮細胞は B 判定である。
 3. 軽度異型扁平上皮細胞は B 判定である。

4. 正常上皮細胞のみの場合はB判定である。
5. 喀痰中に組織球を認めない場合はB判定である。
17. 小細胞癌について 誤っているものはどれですか。
 1. TTF-1 が陽性を示すことが多い。
 2. 気管支閉塞をきたすことが多い。
 3. 神経内分泌への分化の証明は必要としない。
 4. 腺癌や扁平上皮癌が混在している場合は小細胞癌としない。
 5. 非定型的カルチノイドとの鑑別には核分裂像の有無が重要である。
18. 次のうち 誤っているものはどれですか。
 1. *Pneumocystis jirovecii*は、球形や三日月状の形態をとる。
 2. *Cryptococcus*は mucicarmine 染色陽性である。
 3. *Aspergillus niger*の感染ではシュウ酸カルシウム結晶が沈着する。
 4. *Mucor*の菌糸は幅広く、しばしばねじれや屈曲を生じる。
 5. *Nocardia*は嫌気性 Gram 陽性の球菌である。
19. 大細胞神経内分泌癌について 誤っているものはどれですか。
 1. 核縁が薄く、核線を伴う。
 2. 背景に壊死物質を認める。
 3. 核小体が明瞭に認められる。
 4. ロゼット様構造がみられる。
 5. 核分裂像は目立たない。
20. 定型的カルチノイドについて 誤っているものはどれですか。
 1. tumourlet とは腫瘍径により鑑別される。
 2. 免疫組織細胞化学的に CD56 が陽性を示す。
 3. 間質に骨や軟骨形成、アミロイド沈着を認める。
 4. 電顕的に高電子密度芯状顆粒が多数認められる。
 5. 核は Grimelius 染色で陽性を示す。

その5 消化器

1. 口腔領域疾患について正しいものはどれですか。

A. 扁平苔癬では強い壊死性背景を伴う。	1. A. B
B. 悪性黒色腫は発生しない。	2. A. E
C. 舌癌のリンパ節転移はまれである。	3. B. C
D. EBV は上咽頭癌の発生に関与する。	4. C. D
E. 真菌症ではカンジダ症の頻度が最も高い。	5. D. E
2. 唾液腺腫瘍のうち好発年齢の高いものはどれですか。

A. 腺房細胞癌	1. A. B
B. 粘表皮癌	2. A. E
C. 多形腺腫	3. B. C
D. 基底細胞腺癌	4. C. D
E. ワルチン (Warthin) 腫瘍	5. D. E
3. 細胞診の Giemsa 染色で異染性を示す唾液腺腫瘍はどれですか。

A. 多形腺腫	1. A. B
B. ワルチン (Warthin) 腫瘍	2. A. E
C. 粘表皮癌	3. B. C
D. 腺房細胞癌	4. C. D
E. 腺様嚢胞癌	5. D. E
4. 大腸疾患について正しいものはどれですか。

A. クローン病では乾酪性類上皮細胞肉芽腫を認める。	1. A. B
B. 潰瘍性大腸炎は偽膜を形成する。	2. A. E
C. 腸結核の診断には Ziehl-Neelsen 染色が有用である。	3. B. C
D. 虚血性大腸炎は左側結腸に好発する。	4. C. D
E. アメーバ赤痢の診断には Grocott 染色が有用である。	5. D. E
5. 大腸病変について癌化と関係の深いものはどれですか。

A. 絨毛腺腫	1. A. B
B. 過形成性ポリープ	2. A. E
C. 若年性ポリープ	3. B. C
D. 炎症性ポリープ	4. C. D
E. 家族性大腸腺腫症	5. D. E

6. 胆汁中の再生上皮の細胞像として正しいものはどれですか。
- 核形不整が強い。
 - 不規則な重積細胞集塊を形成しやすい。
 - 比較的均一な大型核小体を認める。
 - 核間距離が均等なシート状集塊として出現する。
 - 集塊辺縁に細胞質はみられない。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
7. 肝胆膵疾患について正しいものはどれですか。
- 肝内胆管癌の多くは肝硬変症を合併している。
 - 胆管内乳頭状腫瘍では多量のアミラーゼ産生がみられる。
 - 糖尿病は膵癌の危険因子である。
 - 膵癌は K-ras 遺伝子変異と関連がある。
 - 膵・胆管合流異常症は膵癌の危険因子である。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
8. 膵粘液性嚢胞腫瘍について正しいものはどれですか。
- 膵液細胞診での診断は容易である。
 - 卵巣様間質を認める。
 - 膵尾部に好発する。
 - 中年男性に好発する。
 - 悪性病変は含まない。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
9. 消化器細胞診検体で感染症法に基づく届出が必要な病原体はどれですか。
- Mycobacterium tuberculosis*
 - Cryptosporidium*
 - Toxoplasma gondii*
 - Epstein-Barr virus*
 - Cytomegalovirus*
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
10. *Helicobacter pylori* について 誤っている ものはどれですか。
- MALT リンパ腫との関連性が高い。
 - ウレアーゼ活性によりアンモニアを産生する。
 - グラム陽性の棍棒状菌である。
 - 腸上皮化生粘膜に多く存在する。
 - 経口感染と考えられている。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
11. 胆道疾患について 誤っている ものはどれですか。
- 原発性硬化性胆管炎は胆管癌の発生に関連がある。
 - 胆管内上皮内腫瘍の BiILN-1 は軽度異形成に相当する。
 - 胆管内乳頭状腫瘍は粘液を産生しない。
 - 肝外胆管癌は十二指腸乳頭部癌より予後は良好である。
 - カルチノイド腫瘍は神経内分泌腫瘍の G1 に含まれる。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
12. 超音波内視鏡ガイド下穿刺吸引細胞診 (EUS-FNAC) について 誤っている ものはどれですか。
- 消化管粘膜下腫瘍の診断には有用でない。
 - 合併症には出血や感染がある。
 - セルブロックを用いた免疫染色は補助的診断に有用である。
 - 膵内分泌腫瘍の診断に適している。
 - Solid-pseudopapillary neoplasm と膵内分泌腫瘍の細胞学的鑑別は容易である。
1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
13. 唾液腺について正しいものはどれですか。
1. 大中小の唾液腺に分類される。
 2. 耳下腺は漿液性と粘液性からなる混合腺である。
 3. 顎下腺は粘液性細胞からなる。
 4. 耳下腺, 顎下腺, 口唇腺を 3 大唾液腺と呼ぶ。
 5. 粘液嚢胞は唾液腺の排泄導管の破綻により生じる。
14. 耳下腺以外の唾液腺に好発する腫瘍はどれですか。
1. 多形腺腫
 2. ワルチン (Warthin) 腫瘍
 3. 基底細胞腺癌
 4. 腺房細胞癌
 5. 腺扁平上皮癌
15. 食道疾患について 誤っている ものはどれですか。
1. 早期癌は壁深達度が粘膜内にとどまり, リンパ節転移の有無は問わない。
 2. バレット (Barrett) 食道は腺癌の発生母地となる。
 3. GIST が好発する。

4. 顆粒細胞腫では PAS 反応陽性顆粒を認める。
5. 食道癌は胸部中部食道に好発する。
16. 胃癌の術中腹腔洗浄細胞診について 誤っているものはどれですか。
 1. 疑陽性の場合は CY0 と記載する。
 2. ダグラス窩より洗浄液を採取する。
 3. シート状の中皮細胞を認める。
 4. 開腹直後に検査する。
 5. CY 1 は肉眼的進行度 (Stage) III に相当する。
17. 肝臓について 誤っているものはどれですか。
 1. 肝硬変の原因としてうっ血性心不全がある。
 2. 肝細胞は PAS 反応陽性である。
 3. 肝細胞は脂質を代謝する。
 4. 非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) では、抗ミトコンドリア抗体が検出される。
 5. 慢性ウイルス性肝炎では門脈域にリンパ球主体の炎症細胞浸潤がみられる。
18. 肝細胞癌について 誤っているものはどれですか。
 1. 組織構造は索状型、偽腺管型、充実型、硬化型に分類される。
 2. 高分化型の核は小型均一である。
 3. 早期癌では偽小葉間結合組織がみられる。
 4. 早期癌の大きさは通常 3cm 以下である。
 5. 早期癌と高度異型結節の細胞学的鑑別は困難である。
19. 膵管内乳頭状粘液性腫瘍について 誤っているものはどれですか。
 1. 非乳頭状腫瘍もみられる。
 2. 厚い被膜を有する。
 3. 胆膵型は胃型より悪性度が高い。
 4. 膵液細胞診では種々の大きさの細胞集塊が出現する。
 5. 亜型分類には MUC 染色が有用である。
20. 膵内分泌腫瘍について 誤っているものはどれですか。
 1. 細胞診による良悪性判定は容易である。
 2. 血管性間質がみられる。
 3. インスリノーマは良性が多い。
 4. 多発性内分泌腫瘍 (MEN) I 型に合併する。
 5. 核分裂数と Ki-67 陽性細胞数を指標として Grade 分類される。

その6 婦人科

1. 女性性器について正しいものはどれですか。

A. 膣、子宮、卵巣はミューラー管から発生する。	1. A. B
B. 膣内はデーデルライン桿菌によって弱アルカリ性に保たれている。	2. A. E
C. 子宮の体部筋層は横紋筋からなる。	3. B. C
D. 子宮の背側には直腸があり、直腸子宮窩をダグラス窩という。	4. C. D
E. 卵管には蠕動運動がみられる。	5. D. E
2. コルポスコピーの所見について正しいものはどれですか。

A. ナボット卵が発生する部位は扁平上皮 (S) の領域である。	1. A. B
B. 白斑は酢酸加工なしで観察される。	2. A. E
C. 赤点斑 (P) は毛細血管が点状に見える限局性の異常病変である。	3. B. C
D. モザイク所見は非腫瘍性病変では観察されない。	4. C. D
E. 浸潤癌では血管の太さは太くなるが、血管距離は規則的である。	5. D. E
3. 正しいものはどれですか。

A. エストロゲンは子宮内膜の分泌期変化に関与する。	1. A. B
B. 月経不順は思春期や更年期で頻度が高い。	2. A. E
C. 神経性食思不振症は無月経の原因となる。	3. B. C
D. エストロゲンは主として黄体細胞で産生される。	4. C. D
E. 顆粒膜細胞腫はプロゲステロンを産生する。	5. D. E
4. 絨毛性疾患について正しいものはどれですか。

A. 胎状奇胎では正常妊娠に比べ血中 β hCG 値が高値である。	1. A. B
B. 全胎状奇胎と部分胎状奇胎の鑑別には p57 ^{KIP2} による免疫染色が有用である。	2. A. E
C. 全胎状奇胎のほとんどは3倍体によって発生する。	3. B. C
D. 妊娠性絨毛癌では絨毛形態がみられる。	4. C. D
E. 妊娠性絨毛癌は非妊娠性絨毛癌に比べて化学療法に対する反応が悪い。	5. D. E

5. 子宮頸部上皮内腫瘍 (CIN) について正しいものはどれですか。
- A. CIN1 は腫瘍性異型細胞が上皮の下層 1/3 に限局する病変である。 1. A. B
 - B. HSIL は概ね CIN1, 2 に相当する。 2. A. E
 - C. コイロサイトーシスがあれば CIN2 とする。 3. B. C
 - D. 腺侵襲が認められれば CIN3 とする。 4. C. D
 - E. CIN3 には高度異形成, 上皮内扁平上皮癌が含まれる。 5. D. E
6. 子宮体部類内膜腺癌について正しいものはどれですか。
- A. I 型子宮内膜癌に含まれる。 1. A. B
 - B. 子宮内膜異型増殖症からの移行はまれである。 2. A. E
 - C. 核異型は Grade 評価に影響を与えない。 3. B. C
 - D. 充実性増殖の割合が 10%以下であれば Grade 1 である。 4. C. D
 - E. Morula (桑実胚様細胞巣) は扁平上皮への分化に含まれる。 5. D. E
7. 子宮体部腫瘍について正しいものはどれですか。
- A. ポリープ状異型腺筋腫は閉経後に発生することが多い。 1. A. B
 - B. 同所性癌肉腫の肉腫成分として, 横紋筋肉腫や内膜間質肉腫が挙げられる。 2. A. E
 - C. 漿液性腺癌では p53 遺伝子の変異がみられることが多い。 3. B. C
 - D. 子宮内膜間質肉腫では腫瘍細胞が細血管を同心円状に取り巻く像が特徴的である。 4. C. D
 - E. 平滑筋腫瘍に壊死がみられた場合には平滑筋肉腫とする。 5. D. E
8. 本邦における基本的治療について正しい組み合わせはどれですか。
- A. CIN1 _____ 円錐切除術 1. A. B
 - B. 子宮頸癌 IB2 期 _____ 準広汎子宮全摘出術 2. A. E
 - C. 子宮頸癌 IIIB 期 _____ 広汎子宮全摘出術 3. B. C
 - D. 妊孕性温存希望のある子宮内膜異型増殖症 —— 高用量プロゲステロン療法 4. C. D
 - E. 筋層浸潤のない子宮体癌 IA 期 —— 単純子宮全摘出術+両側付属器摘出術 5. D. E
9. 子宮頸癌の臨床進行期分類として正しいものはどれですか。
- A. 臨床進行期分類は原則として治療開始前に決定し, 以降これを変更しない。 1. A. B
 - B. IA 期の診断は円錐切除など病変全体の観察によって行う。 2. A. E
 - C. 腺癌では IA1 期, IA2 期の細分類は行わない。 3. B. C
 - D. 子宮頸癌が体部に浸潤すると II 期に分類される。 4. C. D
 - E. 子宮傍組織に浸潤すると III 期に分類される。 5. D. E
10. HPV について 誤っている ものはどれですか。
- A. 頸部腺癌との関連性は低い。 1. A. B
 - B. 16, 18, 52 型は高危険群に含まれる。 2. A. E
 - C. コイロサイトは HPV 感染の所見である。 3. B. C
 - D. 尖圭コンジローマでは 6, 11 型がおもにみられる。 4. C. D
 - E. CIN3 ではおもに低危険群 HPV が検出される。 5. D. E
11. 次のうち正しいものはどれですか。
1. 妊娠中の腔細胞診ではデーデルライン桿菌が減少する。
 2. 舟状細胞は高エストロゲン効果を反映している。
 3. 非授乳産褥婦では早期に中層細胞が減少する。
 4. 妊娠中は中層型優位の細胞像を呈する。
 5. 細胞成熟度指数 (M. I.) が左方移動すると流産が予知される。
12. 次のうち正しい組み合わせはどれですか。
1. 外陰ヘルペス _____ 細胞質内封入体
 2. クラミジア感染症 —— 核内封入体
 3. カンジダ膣炎 _____ clue cell
 4. 尖圭コンジローマ —— two-tone color
 5. トリコモナス膣炎 —— cannon ball
13. 次のうち正しい組み合わせはどれですか。
1. 顆粒膜細胞腫 _____ 血中 CEA 高値
 2. セルトリ・ライディッヒ細胞腫 —— 男性化徴候
 3. ディスジャーミノーマ _____ AFP 産生
 4. 未熟奇形腫 _____ β hCG 産生
 5. Kruckenberg 腫瘍 _____ 浸潤性乳管癌
14. ホルモン細胞診について 誤っている ものはどれですか。
1. 新生児期は傍基底細胞優位である。
 2. 増殖期にはケラトヒアリン顆粒を持つ表層細胞が出現する。
 3. 分泌期には中層細胞が多くなる。

4. 妊娠中期には舟状細胞が出現する.
5. 授乳中は閉経期と類似した細胞がみられる.
15. 子宮内膜症について 誤っている ものはどれですか.
 1. 子宮内膜組織に類似する組織が子宮内膜以外の部位にみられる.
 2. 類内膜腺癌や明細胞腺癌の発生母地となる.
 3. 腹膜子宮内膜症ではブルーベリースポットと呼ばれる変化がみられる.
 4. 卵巣チョコレート嚢腫との関連性は低い.
 5. 月経困難症の原因となる.
16. 次のうち 誤っている ものはどれですか.
 1. クラミジア感染では自覚症状を認めないことが多い.
 2. トリコモナスは性行為によって感染する.
 3. 淋病は不妊や子宮外妊娠の原因となる.
 4. 性器ヘルペスでは水疱や潰瘍が多くみられる.
 5. カンジダ膣炎では黄色帯下が特徴的である.
17. 次の病変と細胞像・組織像の組み合わせのうち 誤っている ものはどれですか.
 1. 分葉状頸管腺過形成 (LEGH) ——— 黄色調粘液
 2. 角化型扁平上皮癌 ————— 角化真珠
 3. 漿液性腺癌 ————— 砂粒体
 4. すりガラス細胞癌 ————— 好中球
 5. 小細胞癌 ————— 木目込み状配列
18. 次のうち I 型子宮内膜癌の危険因子として 誤っている ものはどれですか.
 1. 高血圧
 2. 未産
 3. 糖尿病
 4. 喫煙
 5. 肥満
19. 卵巣上皮性悪性腫瘍について 誤っている ものはどれですか.
 1. 最も多い組織型は漿液性腺癌である.
 2. 粘液性腺癌は免疫染色にて通常 CK7, CK20 とも陽性を示す.
 3. 類内膜腺癌のほとんどが子宮体部からの転移である.
 4. 我が国における明細胞腺癌の頻度は欧米に比べて高い.
 5. 良性ブレンナー腫瘍成分とともに移行上皮癌がみられれば, 悪性ブレンナー腫瘍と診断される.
20. 婦人科悪性腫瘍について 誤っている ものはどれですか.
 1. 外陰癌の組織型で最多のものは悪性黒色腫である.
 2. 腔癌の組織型で最多のものは扁平上皮癌である.
 3. 卵管癌の特徴的な症状は水様性帯下である.
 4. 腹膜癌の代表的な組織型は漿液性腺癌である.
 5. 外陰部パジェット病は腺癌に分類される.